

# まつもと じゅん 松本純

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治瓦版



松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

## 松本純が〈郵政民営化特別委員会〉に臨む3原則!

- ①国民にはサービスの低下をもたらさない
- ②職員には働きがいのある職場を
- ③国には国益を損なわない制度に

郵政民営化は、小泉純一郎首相が「改革の本丸」と位置づける今国会の最重要課題です。その法案審議のために5月20日、衆議院に「郵政民営化に関する特別委員会」が設置されました。自民党に割り当てられた委員数は23人。その1人として、私が指名されました。

委員長に二階俊博議員、自民党の筆頭理事に山崎拓議員が就任しました。山崎さんは就任と同時に、首相補佐官を辞任しました。総務大臣政務官を務める私の場合はどうなのだろうか、と調べてもらいましたが、「政務官は国会の理事を兼任しない」という“不文律”はあるものの、委員の場合は問題ないということでした。



皆さんもご存知のとおり、小泉首相が目指す郵政民営化に対しては、民主・社民・共産など野党がそろって反対しています。それだけでなく、自民党の内部にも根強い反対があり、報道によりますと、この特別委員会の自民党委員のうち7人近くが反対・慎重派から起用されているということです。

「それなら松本純は、民営化に賛成なのか反対なのか？」というご質問が当然出るでしょう。郵政事業は現在、日本郵政公社によって行われています。厳しい経営環境の中で、公社の皆さんの頑張りには心から敬意を表しますが、郵政事業にとって、時代の要請にそった改革が必要なことは、民営化反対の人たちも認めています。問題は「賛成か反対か」ではなく、「どういう民営化が必要か」なのです。

そこで私の主張は、「民営化は目的ではなく手段である」を前提として、冒頭に掲げた3原則の実現です。これを別の言葉でいうと、①利用者の利便をより一層向上させる ②職員がより意欲をもって仕事に取り組める組織にする ③国全体にとってもプラスになるようにする—ということです。

大きな任務を付託された特別委員会は波乱含みですが、私はこの構想の実現に全力を尽くします。

## 松本議員の国会レポート①

平成17年

【4月19日(火)】

- 午前11時10分 ●森田一衆議院議員と面談
- 午前11時30分 ●宝田良一横浜市立大学理事長就任挨拶
- 午後0時45分 ●代議士会
- 午後1時 ●衆議院本会議
- 午後3時 ●財務省法規課長と面談
- 午後3時30分 ●郵政改革に関する関係合同部会

【5月9日(月)】

- 午前7時 ●京急六浦駅で早朝駅頭演説会
- 午前10時30分 ●国道357号線の早期整備を要望
- 午後1時30分 ●柏葉たししみ会(定例地域女性後援会)
- 午後7時30分 ●後援会事業運営委員会

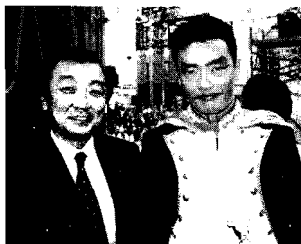
【5月11日(水)】

- 午前7時 ●京急金沢文庫駅で早朝駅頭演説会
- 午後3時 ●第1回住民基本台帳の閲覧制度等のあり方に関する検討会
- 午後6時30分 ●河野洋平衆議院議長と懇談

横浜市大の新しい理事長に就任された宝田良一さんが、ブルース・ストロナク学長らとともに挨拶に見えられました。宝田さんは元町SS会の元理事長であり、私には横浜青年会議所の大先輩でもあります。教育にはかねてから一言をおもちですが、横浜市大では医学部の定員を増やし、過疎地域の医師不足解消に貢献したいと考えておられます。先輩の夢の実現に私も全力で協力してゆきたいと思っています。

私の選挙区は中区・磯子区・金沢区ですが、この中で最も交通渋滞で悩んでいるのが八幡橋付近です。その根本的解決のためには、八幡橋に平行して国道357号を整備して、もう一本の橋をかけなければなりません。そこで、新井敏二郎議員や宮嶋連合町内会長らと横浜国道事務所を訪れ、所長に現状を説明し、改善を求めました。所長は、早速状況を調査し、対応について検討することを約束してくれました。

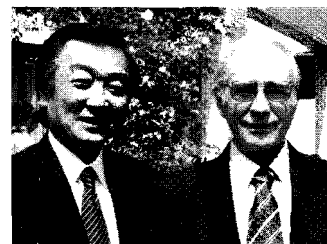
住民基本台帳の閲覧制度を悪用した個人情報の流しや犯罪が問題になっています。このため原則公開の閲覧制度について法改正を含めて見直す検討会が発足しました。委員の一人である中田宏横浜市長は「個人情報保護の観点から原則非公開にすべきで、閲覧できる場合も全国一律の規定で」という趣旨の意見を述べられました。秋までに報告書をまとめます。



▲4/22野毛大道芝居にナポレオン役で出演した中田市長と



▲4/22 関貞彦市議のご子息・勝則さんのグループが国会見学に



▲4/30聖光学院校友会で恩師トマス先生の瑞宝小綬章受章を祝って



▲磯子区在住の田中邦衛さんと(5/20「がんばれ消防」パーティー)

## 永田町日記

### JR事故の陰で、民間の献身的な協力が…

死者107人を出したJR福知山線脱線事故。私が担当する総務省消防庁も対応に追われる日々が続きましたが、負傷者の救助には民間の方々の献身的な協力もありました。事故現場のすぐそばにある日本スピンドル製造では、社長がただちに操業を停止させて社員に指示、100人以上の社員が工具をもって現場に駆けつけ負傷者の救助にあたりました。大崇工業では社長以下12人が現場へ。尼崎市立大成中学校はヘリコプター基地として校庭を提供し、授業のない先生方がかわるがわる保健室の毛布やガーゼなどを現場に運びました。生徒たちはヘリの爆音が響く中で授業を続けたそうです。さらに尼崎中央市場、運送会社、喫茶店などの人たち…。こうした行動に感激した麻生太郎総務大臣の提案で、政府はこうした人たちに報いるよう検討しています。皆さん、ありがとうございました。(純)

まつもとじゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市長(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議院2期目。総務大臣政務官に就任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国形をつくるため奮闘中!